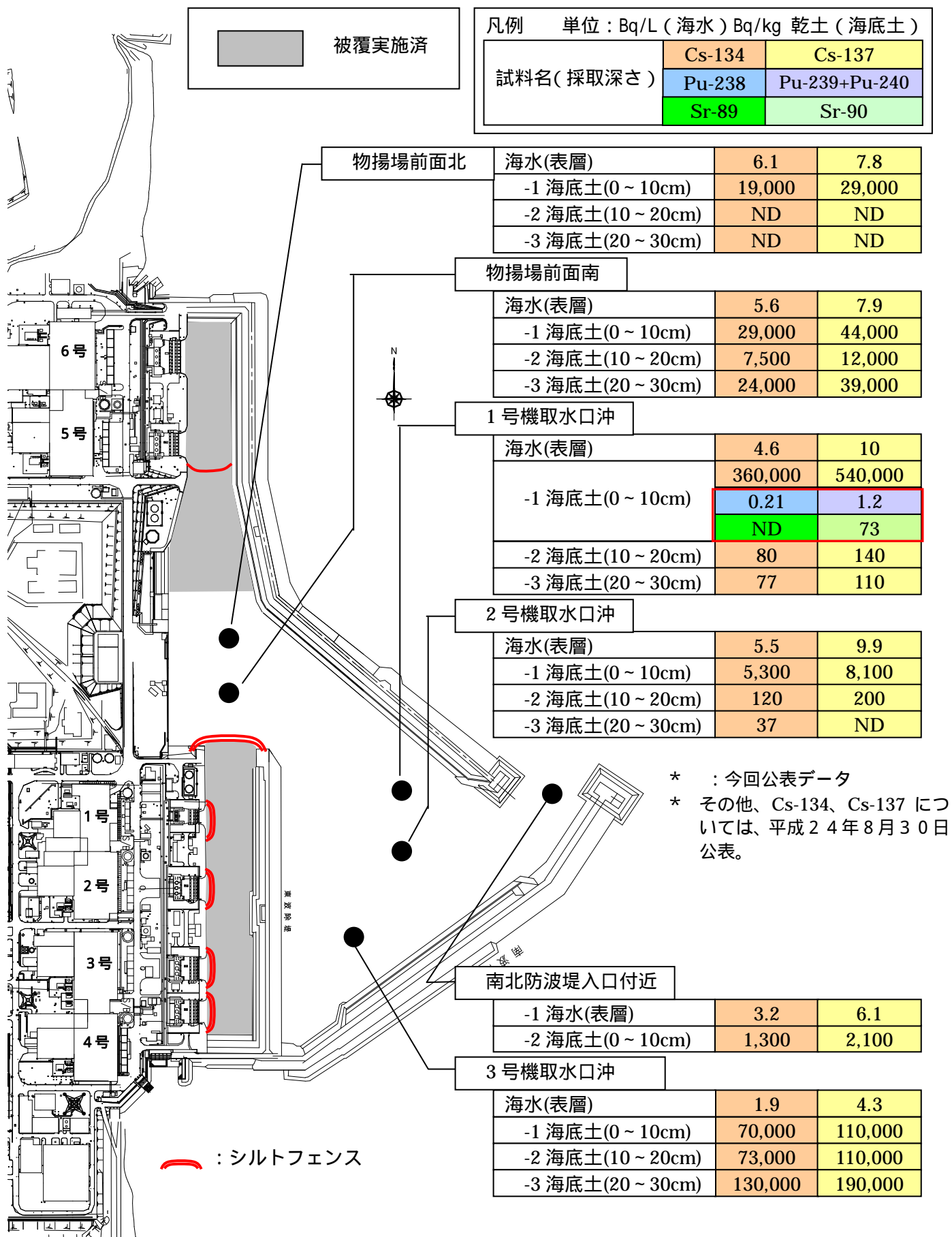


# 福島第一原子力発電所港湾内海底土核種分析結果

(調査日：平成 24 年 7 月 23 日)



福島第一原子力発電所港湾内海底土核種分析結果

参考値

地点番号	採取場所	試料採取日時	乾土率 (%)	試料濃度 (Bq/kg・乾土)		
				I-131 [約8日]	Cs-134 [約2年]	Cs-137 [約30年]
- 1	物揚場前面北	平成24年7月23日 10時10分	48.9	ND	19,000	29,000
- 2			69.3	ND	ND	ND
- 3			82.7	ND	ND	ND
- 1	物揚場前面南	平成24年7月23日 10時39分	65.2	ND	29,000	44,000
- 2			73.4	ND	7,500	12,000
- 3			74.1	ND	24,000	39,000
- 1	1号機取水口沖	平成24年7月23日 10時56分	44.7	ND	360,000	540,000
- 2			77.6	ND	80	140
- 3			76.9	ND	77	110
- 1	2号機取水口沖	平成24年7月23日 11時08分	75.3	ND	5,300	8,100
- 2			81.0	ND	120	200
- 3			77.9	ND	37	ND
	南北防波堤入口付近	平成24年7月23日 11時37分	76.2	ND	1,300	2,100
- 1	3号機取水口沖	平成24年7月23日 11時20分	42.6	ND	70,000	110,000
- 2			69.6	ND	73,000	110,000
- 3			72.7	ND	130,000	190,000

本分析における放射能濃度の検出限界値 (I-131が約1,500Bq/kg・乾土、Cs-134が約42Bq/kg・乾土、Cs-137が約52Bq/kg・乾土) を下回る場合は、「ND」と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

[ ]内は、半減期を示す。

I-131,Cs-134,Cs-137については、8月30日公表。

地点番号	採取場所	試料採取日時	試料濃度 (Bq/kg・乾土)		
			Pu-238	Pu-239+ Pu-240	
- 1	1号機取水口沖	平成24年7月23日 10時56分	0.21	1.2	—
福島第一及び福島第二付近の近海における過去の測定範囲 (平成11年度～平成20年度) Pu-239,240 : 0.17～0.56 Bq/kg・乾土 出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)					
国内における過去の測定値の範囲 (平成18年度～平成22年度) Pu-238 : ND～0.06 Bq/kg・乾土 出典「環境放射線データベース」(文部科学省)					

<評価>

Pu-238とPu-239,240の濃度は、以下の理由により、今回の事故に由来するものと考えられる。

- ・発電所付近の沿岸部では検出されていないPu-238が検出されていること。
- ・検出されたPu-239,240の濃度が、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の最大値を上回っていること。

地点番号	採取場所	試料採取日時	試料濃度 (Bq/kg・乾土)		
			Sr-89	Sr-90	
- 1	1号機取水口沖	平成24年7月23日 10時56分	ND	73	—
福島第一及び福島第二付近の近海におけるSr-90の過去測定値の範囲 (平成11年度～平成20年度) Sr-90 : ND～0.17 Bq/kg・乾土 出典「平成21年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果報告書」(福島県原子力発電所 安全確保技術連絡会)					

<評価>

Sr-90の濃度は、福島第一及び福島第二付近の近海における過去の最大値を上回っており、今回の事故に由来するものと考えられる。

\* : 今回公表データ